



小論文のテーマ速報

今年度の本学受験自治体は、名古屋市、東京都、神奈川県でした。各教員採用試験一次での小論文は、「多様性」、「児童・生徒が互いの良さを見付け、多様な考えを尊重し合うことについて」、「地域とともにある学校づくり」「インクルーシブな学校づくり・授業づくり」「困難を抱える子どもへの支援」「『いのち』を大切にする心をはぐくむ教育」「キャリア教育」など様々な取組の推進について」でした。どの自治体も、変化の激しい予測不可能な現代において、多様化する人・考え方・社会を自他共に尊重し認め合い、協働して、持続可能な発展する社会の創り手を育成することを目標としているからです。

ポイント:①相手の良さに留まらず、「互いの良さ」と言及しています。

過去に「思いやり」というテーマもありましたが、相手を大切するためには、自分を大切に思うことが必要です。互いにかけてあげられない命を持ち、可能性のある未来を持っている存在と知る方策を考えましょう。

②「作り手」ではなく、「創り手」なのでしょう。考えてみてください。

教育は、毎日の積み重ねです。中高生に、失敗や挫折は多々あります。その時に、どのように寄り添うのかは必要なことです。が、そのような時に、“先生のあのことを思い出す”“あの体験を思い出す”ことも必要です。トンネルの先が開いていることを知らずに（経験なしに）、一人で飛び込むことは難しいことです。そのような仕掛けや取り組みを用意することは、学校教育・学校チームだからこそできることです。

大学3年生前倒し選考・臨時的任用教員・時間講師募集 情報

各自治体では、多様なタイプの受験方法で受験者を集めています。千葉県では、このシステムを卒業前年度の学生と位置づけ、大学院1年生にも広げています。早期に、チェックしましょう。

校種・教科・科目等				応募者数			受験者数 (A)			採用見込者数 (B) 3年前倒し受験通過者数 (B)			倍率 (A / B)		
				2025	2024	2023	2025	2024	2023	2025	2024	2023	2025	2024	2023
				実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
中・高等学校共通	数学	一	一般	537	550	539		461	447		277	311		1.7	1.4
			3年生前倒し		212	165		196	150		113	90		1.7	1.7
	理科	物理	一般	112	87	106		68	90		56	72		1.2	1.3
			3年生前倒し		41	21		39	21		35	18		1.1	1.2
		化学	一般	150	157	161		132	136		89	78		1.5	1.7
			3年生前倒し		71	48		57	44		42	29		1.4	1.5
		生物	一般	165	182	172		146	131		73	67		2.0	2.0
			3年生前倒し		45	53		42	48		35	37		1.2	1.3
	地学	一般	一般	19											
			3年生前倒し												

臨時的任用教員・時間講師の募集について

各都道府県の教育員会の HP で募集案内があります。まず応募。選考の有無はそれぞれです。そして、名簿登載となります。東京都では、公立学校（小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校）の各学校に令和7年4月から勤務する、「臨時的任用教員」と「時間講師」を令和6年10月1日から募集中です。https://www.kyoinsaiyopr.metro.tokyo.lg.jp/pdf/recruit/r7_rinnin_jikan_youkou.pdf
令和8年4月からの勤務は令和7年10月1日から募集です。随時募集の自治体もあります。

先輩紹介 大久保 直弥氏

7月5日(土)ラグビー日本代表は、ラグビー伝統国ウェールズから、2019年以来の勝利を挙げました。2019年のワールドカップで予選トーナメントを勝ち抜き、初めて決勝トーナメントに見事勝ち進みました。その胸に咲く桜のエンブレムのジャージにちなみ、この健闘は桜旋風と東京から世界に発信されました。その後2023年は予選トーナメント2位と健闘むなしく、決勝トーナメントに進出できませんでした。そして、2027年ワールドカップに向けて始動しています。ぜひ桜を咲かせて欲しいです！

ここで次の記事(Yahoo!ニュース 7/16(水) 6:50 配信)を紹介します。

「ラグビー日本代表に競技歴わずか6年で到達 プロ契約、ニュージーランド挑戦... 大久保直弥は新時代を切り開いた(web スポルティーバ) -」

大久保直弥氏の経歴は、法政二高→法政大→サントリー→ニュージーランドへ→サウスランド州代表。

【スポーツ歴】

小学校・中学校時代は野球。同じ町内の元プロ野球選手の井畑弘和氏とキャッチボールをしながら、明らかに球の回転が違う、こういう人がプロ野球選手になるんだと思った。

法政二高時代はバレーボール部。インターハイや国体に出場したが、**法政大学**同期に元日本代表の朝日健太郎氏がいたため、試合に出るポジションがないと、別のスポーツをやろうと決めた。

【ラグビー歴】**法政大学**では、大学から始める人の多いアメフトをやろうと思ったが、高校のバレー部顧問からラグビーを勧められ入部。ルールも知らずに始めたが、体幹の強さと強靱な体力と協調性で2年生からレギュラー。

そして、サントリーへ。

ずっとやろうとは思っていなかった。プロの環境もまだなかったし、大学でもこれといった成績を残せなかったし、選手としても無名で実績がなかったし、サントリーに採ってもらって、ラッキーでしたし、感謝してます。(サントリーサンゴリアス HP より原文のまま)

準備ができれば、始めようではなく、飛び込んで拓いた世界です。準備が整う時って、いつでしょう？

2年後日本代表に選出。ラグビー競技歴6年でのことだった。活躍後、当時は多くなかったプロ選手となる。

その後ニュージーランドへ渡り、サウスランド州代表となる。堀江翔太、田中史朗が続いた。

【ワールドカップ歴】

1999年大会と2003年大会に出場。2度目の大舞台では副キャプテンを務める。しかし1999年大会では1勝できずに帰国。2003年の初戦スコットランドは世界屈指の強豪。前半20分まで、4点差と粘る。(1トライ戦5点成功すると+コンバージョンゴール2点)しかし、後半スコットランド3トライで敗戦。この時の日本代表が強豪国を相手に勇敢な戦いを見せたことから、海外メディアが「ブレイブ・ブロッサムズ(勇敢な桜の戦士たち)」たたえた。これがラグビー日本代表の愛称「ブレイブ・ブロッサムズ」と定着している。

【指導者として】

2010 サントリー:エディー・ジョーンズ HC を支え FW コーチ

2012 サントリー監督就任 日本選手権3連覇、トップリーグ2連勝

その後多々チームのヘッドコーチ、アシスタントコーチを歴任

2023 U20 日本代表ヘッドコーチ就任 将来の「ブレイブ・ブロッサムズ」を育成中である。

「指導者はやっぱり、選手よりタフじゃなくちゃいけない。1パーセントでも選手がよくなる可能性があるなら、コーチはそこに100パーセントの思いをつぎ込まないと成り立たない仕事ですから」

8月のTRY

熱い想いが伝わりますね。教員も、同じく育てる仕事です。生徒の可能性を本気で信じないと成り立たない。

具体的に生徒の個性や良さを見出し伝えることが肝心です。では、どのように生徒の可能性を見出しますか。

併せて、1ページ目のポイント①②も考えてみましょう。